

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第 4 回高松市競輪事業検討委員会
開催日時	平成 3 0 年 2 月 2 8 日（水） 1 0 時～ 1 1 時 3 0 分
開催場所	高松競輪場研修室
議 題	(1) 選択肢（代替案）と評価基準について (2) 収支見通しについて (3) 市民アンケート結果について (4) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	石川委員、板谷委員、七條委員、西村委員、万野委員、 矢野委員、米澤委員
傍 聴 者	8 人（定員 1 0 人）
担当課及び 連絡先	競輪場事業課庶務係 8 5 1 - 5 0 3 6

会議の経過及び結果

・ 会議の公開について

本日の会議については、個人情報等の非公開となるような事項の審議は想定されないことから、公開とすることとした。

(1) 選択肢（代替案）と評価基準について

事務局から、資料を基に説明し、委員から意見や質問等を求めた。

（板谷委員長）

西スタンドを解体・撤去後、投票所を新築とあるが、中央スタンドのほか、西スタンド部分にも投票所が必要だという考えか。

（事務局）

西スタンドの 1 階部分において、車券を購入したり、レースを見ているお客様が少なからずいるため、投票所の建設を考えている。

（板谷委員長）

西スタンドが大きい印象を受けるが、先日訪れた際も投票所には大勢の人がいて満員状態であり、中央スタンドの投票所のみでは足りない印象を受けた。各スタンドを耐震補強のみにするか、撤去するかという選

択肢があるが、あくまでも、これらの案は叩き台として示したものである。西スタンドは風よけにもなっていると思うが、撤去した場合、その影響はどうか、調査は必要だと思う。ここまでが前回までの宿題であり、ここに含まれていないものが、フードコーナーやコンビニのような箱物を設置するとすれば、どれくらい費用がかかるのか。全体的には、チータカ広場のほか、駐車場も広く、動線なども最初は分かりにくかったが、外構部分も含めた改修、例えば丸亀競艇場のような動線（施設に入る前の警備員によるお客様の誘導）や公園としてのリニューアルも含めて考えていく必要があると思う。

（万野委員）

改修パターンの区分 4・5 のデメリットとしてある動線の検討が必要というのはどういうことなのか。

（事務局）

一つは、西スタンドを解体・撤去後、投票所の2階に事務所と中央スタンド3階にある中央集計室を移転した場合の職員の動線のことである。もう一つは、選手管理棟であり、選手宿舎から移動する場合の動線について、新築した場合、今よりも悪くなることはないよう考える必要がある。

（板谷委員長）

第1回検討委員会の開催場所は、改修対象に含まれているのか。

（事務局）

研修室のことであるが、研修室は改修対象に含めておらず、現状維持を想定している。

（石川委員）

それぞれのパターンで工期がどれくらい違うのか。また、休業する時期がでるのかどうか。

（事務局）

工期については、改修内容によって異なってくるので一概に言えないが、工事期間中は本場開催はできないため、優先順位をつけて、工事を行っていただかなければならない。施設改修を行った他の競輪場の改修パターンとしては、年度の後半と次年度の前半を組み合わせた1年間で工事を行い、これを繰り返すこととなるが、できるだけ工期を短くして、開催期間を確保したいと考えている。

(板谷委員長)

今まで改修した競輪場の売上実績は落ちているのか。

(事務局)

売上げは半分とまではいかななくても、売上げ実績は落ちている。後に示す収支見通しに、そのことは反映していない。

(板谷委員長)

ナイター照明設備については、開催しながら設置できるものなのか。

(事務局)

バンクの周囲で行う工事となるため、本場開催以外の期間の中で、場外開催を行いながら、お客様に迷惑がかからないよう、工事を行っていきたいと考えている。

(板谷委員長)

改修パターンにより、工期の長さや難易度も異なってくると思う。中央スタンドの改修を行う場合、売上げの落ち込みが大きくなってしまおうと思うが。

(事務局)

工期と費用の両面から考えて、ベターな選択をしなければならない。

(西村委員)

他の競輪場における施設改修後の収支の状況はどうなのか。

(事務局)

具体的な数字は把握していないが、武雄競輪場では、リニューアル後、来場者が増加し、売上げも増加していると聞いている。武雄も本市と同様、施設が老朽化していたが、コンパクトなスタンドに改修し、フードコードを配置したことなどにより、子ども連れの客層も増えたとのことである。

(矢野委員)

北スタンドについて、解体のみというのではないが、考え方について。

(事務局)

北スタンドの1階部分には検車場と選手会の道場があり、これらをこのまま残すとなれば、耐震補強となり、選手管理棟と一体的に新築する

場合、北スタンドは解体し、新たに設置はしない。

(矢野委員)

先日の記念競輪「玉藻杯」に来場した際に感じたことだが、子どもの姿も見られ、あれだけの集客があれば良いと感じた。今後の課題として、若いお客様に来ていただけるような方策を考える必要があるが、例えば車券の購入の仕方など、全国的に初心者に対する講習などは行っているのか。

(事務局)

記念競輪の際には、ガイダンスコーナーを設けて、車券の購入の仕方などを教えてくれるスペースを設けているところはある。高松競輪場においては、去る1月に地元紙とコラボして、女性限定の初心者向けの競輪体験教室を開催し、選手会の協力も得て、競輪の魅力や基礎を楽しくレクチャーする中で、実際に車券を購入していただくことにより、好評をいただくことができた。

(石川委員)

高松競輪場には指定席やボックス席はあるのか。

(事務局)

中央スタンド2階に有料(500円)の特別指定席はあるが、ボックス席はない。

(板谷委員長)

武雄競輪場の改修は新築なのか。

(事務局)

ほぼ新築である。メインスタンドは3階建てのコンパクトな建物となり、ボックス席も設置している。

(矢野委員)

西スタンドや北スタンドについて、耐震補強だけでは、寿命は延びないとあるが、耐用年数はどれくらいなのか。

(米澤委員)

一般的には60年であるが、最近では長寿命化改修により、100年に延ばそうという動きはある。西スタンドも耐震補強を行った上で長寿命化改修を行えば、100年に延ばせる可能性はあるが、その分改修費

用も増加することになる。

(石川委員)

先日、武雄競輪場に行ったときの感想として、施設は新しく綺麗であったが、女性にとっては入りづらく感じるので、レディースシートなどがあれば良いと思った。また、武雄もスタンドを撤去したと思うが、風対策の参考になるのではないか。なお、千葉競輪場は廃止予定であったが、民間からの提案により計画を立てて、バンクの再整備等を行っていくようである。

(板谷委員長)

今回叩き台とした案は前回会議において示した代替案のうち、改修するとしたらどんな形態があるのか、各スタンドや事務所等の組合せを示したものであるが、改修案については、いろんな組合せができると思う。修正部分として、中央スタンドにボックスシート、フードコーナー、コンビニなどの内装（快適にしたシートやパーテーションの設置など）、追加部分として、子どもコーナーや駐車場のリニューアル（古い遊具の取替えや駐車場の動線も含めた再舗装）がある。また、競輪場全体を見た場合、研修室も老朽化しているため、改修の検討に追加した方が良いのではないか。こうしたところの厳選や概算費用などを踏まえて、次回、評価基準にある皆さんの役割から深い議論を行い、それぞれのプランのどれを採択すべきか、委員会として決めていきたい。今回は決める場ではなく、叩き台の点検であるが、次回は皆さんの役割から議論をしながら案を絞っていきたいので、イメージを膨らませておいていただきたい。

(2)収支見通しについて

事務局から、資料を基に説明し、委員から意見や質問等を求めた。

(板谷委員長)

ナイター照明設備については、これを設置しなければ赤字に転じてしまうため、競輪場として経営を行っていく上で必須の設備ということは理解できるが、これは検討委員会で判断すべき事案ではなく、高松市が判断すべき事案である。検討委員会ではナイター照明設備を設置するかどうかの意思決定は行わないが、存続するにもやめるにもお金がかかるので、そのための費用は確保していただきたい。今回の収支見通しによって、改修等の数値を考える枠組みができたと思う。

(万野委員)

売上げについて、工期中は最悪どれくらい減少すると考えるか。

(事務局)

単純に考えると、年度の半分が工期となるので、売上げが半減することになる反面、経費もかからなくなるため、収支の面では一概には言えないが、半期の中に本場開催をまとめるなど、売上げを維持できるよう、工期については検討していきたい。

(矢野委員)

収支見通しについて、「ナイター照明設備無し・1.5パーセント減」案では、31年度で単年度収支が赤字になっているが、現実問題としてどうなのか。

(事務局)

昨年度の売上げ138億円に対し、今年度の見込みは130億円余であるが、昨年度の売上げは、特別競輪のウィナーズカップの開催に伴う76億円の売上げを加算してのものであり、実質的には昨年度に劣らないと考えている。現実的に31年度が赤字になるとは考えていないが、収支見通しについては、全国的なトレンドを考慮する中で試算したものである。

(七條委員)

特別競輪の誘致のほか、他の競輪場にもっと場外発売してもらえよう努力してほしい。

(事務局)

特別競輪の誘致については、検討委員会の結果を踏まえて検討したい。なお、3月に開催の「高松市長杯」については、昨年度に比べ、場外車券売場が増加したことにより、売上げは当初予想を大きく上回る見込みである。

(矢野委員)

特別競輪を開催した場合の収支見通しも作成してみてもどうか。

(板谷委員長)

今後の検討委員会におけるジャッジのために、作成しておいてはいいかがか。

(事務局)

昨年度のウィナーズカップの実績等を参考にしながら、5年に1回開催した場合で試算する。

(石川委員)

グッドケース、バッドケースを想定しておくことは良いことだと思うが、人口減少社会の中、売上げは減るのが普通ではないか。競輪の主たる客層は高齢者であり、2025年問題は競輪問題でもあると思われるので、売上げが今のままというのは少し疑問である。

(板谷委員長)

バッドケースの一つが1.5パーセント減ということである。

(石川委員)

1.5パーセント減が最悪のケースなのかどうかは分からない。

(板谷委員長)

1.5パーセント減が人口減少としてなのか、全国平均からくるものかは分からないが、これは、バッドケースの一つとしての見解である。私も数値データについては、改めて調べておきたい。

(矢野委員)

本場開催の収支のほか、地元の人々の採用人数とこれに係る経費について知りたい。

(事務局)

次回までに回答する。

(3)市民アンケートの結果について

事務局から、資料を基に説明し、委員から意見や質問等を求めた。

(板谷委員長)

市民の皆さんから客観的な数字をいただいた。アンケートについては、市民の皆さんがどのように考えているのかを知り、これを真摯に受け止めるという位置づけで行ったものであるが、これで詳らかになったと思う。「高松競輪の今後」について、「存続」が45パーセント、「廃止」が25パーセント、「どちらとも言えない」が27パーセントであったが、この27パーセントの方が「廃止」にまわれば、「廃止」が過半数を占めることになるし、一方、我々が良い案を導き出し、説明

をきちんと果たすことができれば、「存続」が多数を占めることになるだろう。ある意味、競輪事業については周知不足の面が出ていると感じるが、この段階で「廃止」を選んだ方が過半数を超えていなかったということは、我々委員の議論の自由度を高めてくれるものと感じた。その他自由記述については、様々な意見が寄せられているので、委員の皆さんには目を通していただきたい。

(矢野委員)

廃止の理由については真摯に受け止め、これに対する対策をどうするかを検討すべきである。廃止の理由として土地の有効利用が28パーセントとなっているが、例えば競輪事業を廃止し、サッカー場にするとした場合、バンクを残したままでは不可能であり、撤去費用などを考慮しなければならない。ギャンブル依存症の問題であれば、専門の窓口を設置するなど、具体的な対策を考えていけば良いと思う。

(西村委員)

アンケート結果から、懸念するところもあるが、可能性が見えてきたところもあると感じた。収支見通しについては、回答年齢層が「60歳代・70歳以上」の割合が多いため、果たして39年度までの1.5パーセント減が妥当かどうかは分からない。人口減だけでなく、自然災害による環境の変化や、社会的変化によっても変わってくるため、2パーセント減、3パーセント減ということも、我々の中で数字として読み取ること必要ではないかと思った。その反面、来場経験について、「いいえ」が70パーセントを占めていること、存続理由として「スポーツ振興」や「社交・娯楽の場」にも多くの回答をいただいていることから、この場が高松競輪場の未来を語る場であれば、スポーツ振興に力を入れる。例えば、プロのスポーツ選手の育成や、これからの社会を担う子どもたちや家族に対するアプローチが大切ということが分かってきたし、誰もが高松競輪場を訪れて、活用できるようになれば、廃止理由にある「土地の有効利用」も解決していくと思うし、競輪の今後についても選択肢が浮かんでくるのではないかと。回答をいただいた方のコメントについては見せていただきたい。

(石川委員)

大変興味深い結果であると感じた。存続理由で一番多いのが「市の財源」であるということは、赤字になれば、存続理由がないということでもある。廃止理由で一番多いのが「土地の有効利用」なので、もし分かるのであれば、更地にする費用、売却した場合の金額について知りたい。

(事務局)

更地にした場合の費用は13億円程度で、その後、土地を売却した場合の価格は44億円程度と試算している。

(石川委員)

やめるためには、いろいろ費用がかかると思うが、例えば退職金等の経費はどれくらいになるのか。

(事務局)

高松競輪場の場合、従事員の離職餞別金の精算は終わっており、退職金は発生しない。ただし、中央集計室のコンピューター機器等のリース期間があり、リース期間が終了しなければ、違約金等が発生することなどから、それらの補償費は7億円と試算している。

(4)その他

アンケートのその他の意見については、取りまとめたものを、今回の会議記録と併せて委員に送付する。次回は、代替案に対する不足部分を用意した上で、それぞれの案を絞り込んでいく場としたい。日程については、板谷委員長と相談しながら、事務局で調整を行う。

(閉会)